


施策評価調書〔途中評価(平成30年度実施)〕

長崎県総合計画における位置付け

作成年月日		平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	63	P
将来像	次代を担う『人財』豊かな長崎県		施策主管所属	こども政策局こども未来課	
基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む		課(室)長名	課長 濱野 靖	
施策名	(2) 安心して子育てできる環境づくり		施策関係所属 (部局名課名)		

1 施策の内容

<p>【取組の概要】</p> <p>子どもの健やかな育ちを支えるため、有害環境を浄化するとともに、社会の宝である子どもを、地域全体で育んでいきます。</p>		<p>【めざす姿】</p> <p>地域の子どもをしっかりと育てる地域力が高まっている。</p>
--	---	---

2 施策の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価

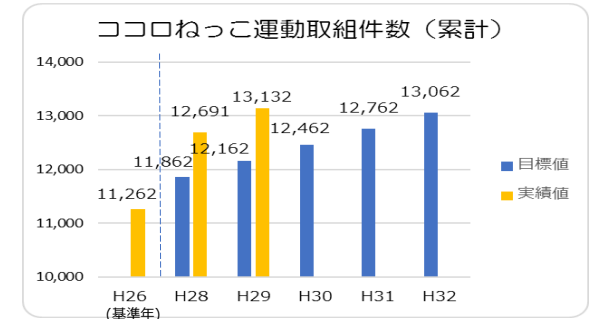
■ A : 順調 □ B : やや遅れている □ C : 遅れている

<<これまでの成果>>

●21市町に配置したココロねっこ指導員による県内各地でのココロねっこ運動巡回説明(ココロねっこ講話)の実施などにより、ココロねっこ運動登録団体数及び運動取組件数は着実に増加している。

<<進捗状況に課題がみられる分野>>

- ココロねっこ運動の取組が増加する一方、家庭の日の県民への認知度はまだまだ低い。
- インターネットの有害情報から子どもたちを守るためには、フィルタリングの利用率向上が有効であるが、全国平均と比較すると長崎県は高い水準を保っているものの、目標達成には及んでいない。
- 乳幼児が一日の大半を過ごす幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園については、早期に耐震化を図る必要があるが、多額の財源捻出の困難さから早期着手に踏み切れない施設が多く、進捗の遅れがある。



3 施策の成果指標の進捗状況

指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
ココロねっこ運動取組件数(累計)	目標値①	/	11,862件	12,162件	12,462件	12,762件	13,062件	13,062件(H32年度)	21市町へのココロねっこ指導員による県内各地でのココロねっこ運動巡回説明(ココロねっこ講話)の実施や、各種イベントなどあらゆる機会を利用した市町、学校、関係団体と連携した啓発等により、ココロねっこ運動取組件数は年々増加している。 ココロねっこ運動の核となる「長崎県青少年育成県民会議」では、新たに社会全体での子育て支援の機運づくりのための事業にも取り組んでおり、こうした事業を通して、広く子育て家庭や子育て支援者に対し、運動の浸透を図り、最終目標の達成を目指していく。
	実績値②	11,262件(H26年度)	12,691件	13,132件				進捗状況	
	②/①	/	106%	107%				達成	

4 新たな課題や社会情勢の変化等

●家庭の日については、小中学校での啓発活動の実施率が70%台にとどまっており、認知度向上のためには、教育委員会と連携した取組が必要である。

●子どもたちを取り巻くインターネットの利用環境は急速に変化しており、スマートフォン・タブレットに対応したフィルタリング利用率の向上や、毎年増加傾向にあるSNSによる被害防止を図る必要がある。

●各地で大規模な地震が発生し、被害が発生していることから、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園に対し、引き続き、耐震化の必要性を訴えていく必要がある。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

●家庭の日の認知度向上に向け、教育委員会と連携し、学校における部活動の休養日設定等と連動した周知啓発を図っていく。

●メディアによる被害防止を図るため、必要な条例改正の検討を行うとともに、メディア安全講習会への指導員の派遣回数の増加に向けた学校等への働きかけ、子どもたちに身近な地域で活動するネットパトロール員の養成を行っていく。

●耐震化向上に向け、市町等と連携し、引き続き必要な施設整備を行っていく。

6 施策を推進する事業群の状況

事業群①「県民総ぐるみの子育て支援」	事業群評価調書5-(2)-①② 参照
事業群②「子どもを取り巻く有害環境対策の推進」	事業群評価調書5-(2)-①② 参照
事業群③「幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の耐震化の推進」	事業群評価調書5-(2)-③ 参照